

# 函館市民憲章

昭和52年5月3日制定

(前文)

わたくしたちは、北海道の文化発祥の地、函館に住む市民です。

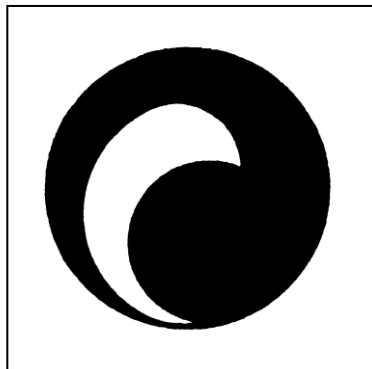
山と海にかこまれた美しい自然を誇り、すぐれた市民性をはぐくんできた函館を、いっそう住みよい都市に発展させるため、わたくしたち市民とまちの理想像をかかげ、ここに市民憲章を定めます。

(本文)

- 1 真心あふれる函館市民，あたたかいまち
- 1 健康で働く函館市民，にぎわうまち
- 1 文化を誇る函館市民，はぐくむまち
- 1 自然を生かす函館市民，きれいなまち
- 1 郷土を愛する函館市民，のびゆくまち

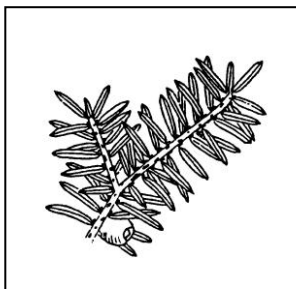
## 市章

昭和10年7月13日制定



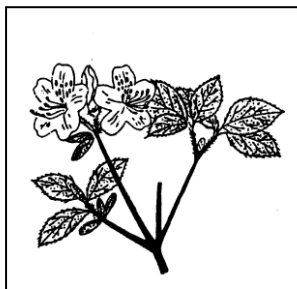
天然の良港－函館港は、津軽海峡に突き出した岬の角に抱かれた形をしており、海水が深く湾入して巴状になっているところから、俗に「巴の港」といわれています。これになぞらえて左巴を市章に制定しました。

市の木 おんこ



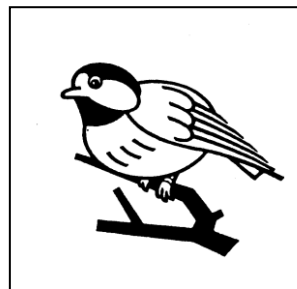
昭和50年4月1日制定

市の花 つつじ



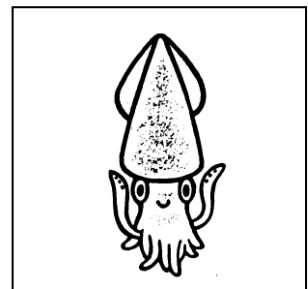
昭和50年4月1日制定

市の鳥 ヤマガラ



昭和62年5月10日制定

市の魚 イカ



平成元年8月1日制定